

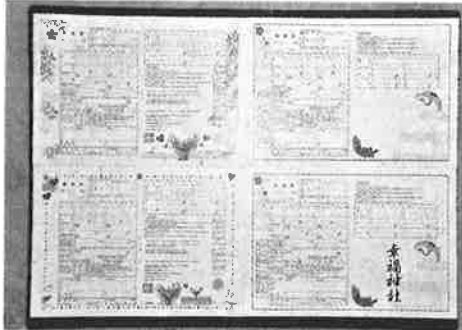
# 祈る幸せ永く末 届婚姻4タイプ



お披露目された婚姻届を手にする純礼欄宣と十屋市長（15日、幸福神社）

## 幸福神社オリジナル 16日から交付、受理

日向市は16日から、幸福神社（同市本町）が作製したオリジナル婚姻届の交付を始めた。婚姻届は4種類あり、同神社にある「夫婦桐（めおとくす）」や同市新庁舎のイラストなどが描かれている。石川純礼欄宣（ねぎ）は「二組でも多くのカップルの末永い幸せを祈りたい」と話している。



幸福神社オリジナル婚姻届

幸福神社は境内の樹齢百数十年といわれる夫婦桐で知られる。隣り合う夫婦桐の間に、夫婦桐の葉をモチーフにしたデザインが施されている。夫婦桐の葉をモチーフにしたデザインが施されている。

オリジナルの婚姻届は昨年3月に帰郷した欄宣の純礼さんが作った。同10月ごろから同市北町のデザイン事務所「マウン

として祭られている。婚姻届は、「この夫婦桐」のクロウが描かれた「めおとくす」▽青い鳥が新庁舎の幸せを運ぶ▽青い鳥と日向市庁舎▽幸福神社と書かれた「御朱印風 鶴と亀」▽実際に朱印を押すためのスペースが設けられた「御朱印用 鶴と亀」の4種。いずれも戸籍法施行規則に合わせた様式で各自自治体でも提出が可能という。

幸福神社 1776（安永5）年、京都伏見の正一位稻荷五社大明神を勧請して高岡陣屋の鎮守稻荷社として創建。1888（明治21）年に町内の天神社などを合併（つぎ）し、稻荷神が「幸」・大国主命は「福」の神であるところから現在名に改称し今年で150年を迎える。

「シャレー」の伊藤参議 けた。例大祭のお披露目にさん（49）と話し合い、訪れた十屋幸平市長は改称150年となる節目の例大祭に合わせて「夫婦桐のまにに末永く

仲むつまじく生活が送れると信じています。ぜひ多くの人に活用していただき幸せになっていただきたい。市役所でも二人の門出を祝福するような笑顔でお迎えし、お受け取りしたい」と笑顔。純礼さんは「幸福神社に参拝して新庁舎に提出し、コピーを取ったものに御朱印をいただいたり、写真を貼ったとして手元に残していただければ」と話した。オリジナル婚姻届は市民課または同神社で受け取ることができる。御朱印をもつ際は有料となる。問い合わせは市民課（電話092・2111、内線2116）、幸福神社（電話093・0173）。